

令和元年度 第1回大和市障がい者福祉計画審議会 会議録（要旨）

日時 令和元年6月4日(月) 午後2時～3時20分

場所 大和市地域医療センター2階 講習室

出席委員 隅河内会長、関水委員、佐藤委員、内藤委員、春日委員、木村委員、中山委員、
鳥海委員【8名】

傍聴人 なし

会議次第

1. あいさつ
2. 計画策定委託業者の紹介
3. 議題
 - (1)大和市の障がい児者の状況について
 - (2)次期障がい者福祉計画策定に係る意識調査について
 - (3)次期障がい者福祉計画策定に係るヒアリングについて
4. その他

会議資料

- 資料1 大和市の障がい児者の状況について
- 資料2-1 次期障がい者福祉計画策定に関する意識調査について
- 資料2-2 調査票案(当事者用)
- 資料2-3 調査票案(当事者以外用)
- 資料3-1 次期障がい者福祉計画策定に関するヒアリングについて
- 資料3-2 大和市障がい者福祉計画策定のための団体ヒアリング 事前質問シート

【議事要旨】

(1)大和市の障がい児者の状況について

事務局：【資料1に基づいて説明】

(質問・意見等は特になし)

(2)次期障がい者福祉計画策定に係る意識調査について

事務局：【資料2-1、2-2、2-3に基づいて説明】

委員：資料2-1の4ページ、問7の選択肢に「9. 精神疾患」とあるが、「疾患」としてしまうと、言葉の示す範囲が狭くなってしまうので、「精神障害」とした方が良いのではないかと。また、他が「知的障害」や「発達障害」などとなっているので、違和感がある。

事務局：障害者手帳や受給者証を取得するきっかけをお聞きするにあたって、発達障害の方も高次脳機能障害の方も精神障害者手帳の対象者となることから、その方々と区別

するために「精神疾患」とした。しかし、違和感があるということであれば、修正したい。

委員：「精神疾患」の方が示す範囲が狭いというお話があったが、一般的には「精神疾患」の方が広く、「精神障害」はそのうちの一部だ、という理解だと思う。

委員：私は逆の認識だった。私が調べた範囲ではそうだったので、事務局に確認していただきたい。

事務局：精神保健福祉法における「精神障害」は器質性にもとづくものを指し、精神障害の全てを表す言葉ではないため、法令上は「障害」の方が狭くなる。それをふまえて、「精神障害」にするか、「精神疾患」のままにするか、どちらが良いだろうか。

委員：知的障害や高次脳機能障害と区別したいということであれば、それはそれで構わない。

委員：障がいだけでなく自立支援医療受給者証は取得できるので、「精神疾患」としたままの方が回答しやすいのではないか。

会長：法律によって障がいというものの捉え方も違いがあるし、また一般的な「障害」の定義と法律における「障害」の定義も違う。しかしここで一番大事なのは、どのようにしたら回答の方が答えやすいか、ということだ。そもそも、この問7では、手帳や受給者証の取得に関わるきっかけについて聞いている。この場合、きっかけというと事故や病気を連想してしまい、問6との関係性が捉えにくく難しいのではないか。

委員：自分の子どもの障がいの「きっかけ」は自閉症と診断されたことだった。若い人たちはこれで分かるだろうが、私はこれを見ると「きっかけがない」と考えてしまう。

事務局：皆様からのご意見の通り、問6と問7が上手くリンクしていないと思われるので、もう一度検討させていただきたいと思う。

会長：こちらについては、事務局に一任して良いだろうか。

全委員：(承認)

会長：6ページで、「具体的な金額を聞くより収入源を調査したほうが施策につなげられると考えるため削除しました。」とご提案があったが、「就労」の概念が難しいと思う。一般企業で働いている方や、工賃で収入を得ているような方など、いろいろな方がいらっしゃる。

事務局：問19は、自分で生活できるくらいの収入を主に何で得ているのかをお聞きしているので、自分の得ている収入よりもご家族の方の収入が多いということであれば、そちらを選んでもらうという想定をしている。

委員：状況によって額に差があるので、それをどう書けば良いのか。年金や工賃なども合わせた本人の全収入を書くということか。

事務局：ご本人が生活していく上で、基盤となる収入が何かということをお聞きしたい。

委員：基盤が年金だけであれば、年金と回答すれば良いということか。

事務局：その通りだ。

会 長：ご家族と同居している場合はどうするのか。

事務局：額が多い方を回答していただくが、同じぐらいであれば本人の主観になるかもしれない。

計画策定委託業者：今回は、年間の収入をお聞きする設問と、働いている方に対して実際の金額をお聞きする設問があった。しかし今ご意見を頂いたように、これだけではご家族と同居されていた場合の暮らし方などが見えてこない。今回の調査票では他の自治体で実施した例などを示しつつ、かつ、回答者の方の負担にならないものということでご提案させていただいている。これから計画を策定するにあたって考えなければいけないことのひとつに、地域の中で自立して暮らしていくということがある。その中のひとつとして経済的な自立をどれだけ達成できるかを考える必要があるが、いろいろな方がいらっしゃるので、自立の仕方もそれぞれ違う。そうしたことを踏まえ、収入についてはできるだけフラットにとらえて、なおかつ回答される方に負担にならないようお聞きするとしたら、どういう形が良いのかを事務局とお話しした上で、こういうご提案をした。

会 長：今の説明で目的やねらいなどは理解したが、そのねらいが分かりやすくなるように、何らかの表現を加えた方が良いと思う。

委 員：「自分の収入」はともかく、「家族の収入」で生活費を得る、というのは違和感があるので、設問文を「…何でまかなわれていますか。」とすると分かりやすいのではないかと。また、「自分の収入」以外は「～による収入」を外した方が分かりやすいと思う。

事務局：ねらいなどはただいま計画策定委託業者から説明があった通りだが、伝わらないと意味がないので、こちらについても表現等を検討させていただきたい。

(3)次期障がい者福祉計画策定に係るヒアリングについて

事務局：【資料3-1、3-2に基づいて説明】

会 長：「(2)保育・学校」の対象団体について、何かご意見はあるだろうか。

委 員：こちらで良いと思われる。

会 長：それでは、対象団体については提案の通りで良いだろうか。

全委員：(承認)

委 員：資料3-2の裏面、「3. ライフステージに応じた生活支援」の部分で、「市に期待するところ」の記入欄が2カ所あるが、これは別の言葉が入るのか、あるいは誤りか。

事務局：誤りなので、削除する。

委 員：「3. ライフステージに応じた生活支援」の「主な施策」で、「…((仮称)特別支援教育センター等との連携)…」となっているが、正式名称となったので「(仮称)」は削

除してほしい。

事務局：削除する。

会 長：「主な施策」のところでは、主な施策が全て網羅されていると考えて良いか。

事務局：こちらでは、前回(平成30年度第3回)の会議の資料でお示しした施策を全て記載している。もちろん、この全てに関して回答しなければいけないというわけではない。この内の一つについてでも構わないのでお答えいただきたい、という意図で記載した。

会 長：次期計画の構成案もシートと共に送付するのか。

事務局：構成案も併せて送付するつもりはなかったが、その方が良いということであれば、検討したい。

会 長：これはあくまで事前質問シートなので、実際のヒアリングの中で分からないことがあれば、補足説明もしながら丁寧に聞いていく、という理解で良いか。

事務局：その通りだ。

会 長：では、事前質問シートもこの案で良いだろうか。

全委員：(承認)

会 長：当事者以外用の調査票について、何か補足事項はあるか。

事務局：前回から変更した項目以外は、前回調査からの推移を見るため、基本的に継続となっている。

以上